



クラウドファンディング
「第二弾！青森県で知的障がいのある人に無料でスポーツできる場を」

第二弾！青森県で知的障がいのある人に無料でスポーツできる場を

青森県 | 社会にいいこと | 特産品 | スポーツ | 話題

成立!!



Kenji Takehora (SON青森)

支援総額	762,000円
目標金額	740,000円
支援者数	41人
残り日数	終了しました

購入型 All or Nothing

プロジェクトが成立しました！
このプロジェクトは
2017年4月17日(月)23:00 に成立しました。

いいね! 1,134 シェア ツイートする BI ブックマーク 0

プロジェクト終了報告

平成29年10月26日
スペシャルオリンピックス日本・青森
ファンドレイジング担当 竹洞
nekohat@gmail.com
SON-AOMORI.ORG

◎お礼

このクラウドファンディングへご協力・ご支援をして下さった皆さまへ、あらためて心からお礼申し上げます。

皆さまのご協力で、この活動は少なくとも全国の1万人の方に知ってもらうことができました。

皆さまのご支援がなければ、スポーツに取り組む知的障がいのある人の喜んだ笑顔を、地域社会でこれほど多く咲かせることはできませんでした。

今、地域社会では、当初想像すらしていなかった取り組みが、様々な方々のご協力で一つずつ実現しています。そして、地域社会は知的障がいのある人にとって生きやすい場所に少しずつ変わろうとしています。

この活動へご支援をして下さった皆さまはもちろん、FacebookやTwitterでこの活動に対して「シェア」や「いいね」などの協力をして下さった方々も私たちの大切な「仲間」です。

住んでいるところや職業、年齢が違っていても、皆さまと一緒に少しずつ、進めていけることに感激してします。

まだまだ、この活動は始まったばかりです。この活動を必要としている全国の人に、この取り組みを知ってもらうため、さらに進めていきましょう。

◎この終了報告について

2016年秋、私たちは、知的障がいのある人へ、スポーツを通じた途切れない自立と社会参加の機会を提供するため、無料でスポーツできるようにクラウドファンディングで資金を募集しました。

青森県は短命県と呼ばれており、ガンで亡くなる40～50代の人が多いのが特徴です。2016年までの数年間に、知的障がいのある人の親が亡くなることで、スポーツの場に参加できなくなる知的障のある人が発生していました。

スポーツへの参加費用を無料化することで、「親を亡くした結果、経済的な理由で参加できなくなる人を少しでも減らそうとする」この取り組みは、スポーツに取り組む全国の知的障がいのある人とその家族の方々の「希望」となりました。

この終了報告では、第2回目のクラウドファンディングにて調達した資金の使途報告だけでなく、クラウドファンディングに挑戦しなければ実現することがなかった活動の広がりについても紹介します。

◎クラウドファンディングの概要

2016年2月27日 公開

2016年4月17日 資金調達（762,000円）

プラットフォーム：株式会社READYFOR?

実行者：スペシャルオリンピックス日本・青森 竹洞兼視、ほか10名

◎支援者

60日間で全国の32%にあたる、15の都府県（熊本・広島・兵庫・大阪・和歌山・愛知・東京・埼玉・栃木・千葉・新潟・茨城・福島・岩手・青森）の97名。

◎資金の用途

青森県の7歳から42歳の知的障がいのある人15名に6ヶ月間、「無料」で水泳・サッカーなどのスポーツ・トレーニングと競技の機会を毎週、自宅近くのスポーツ施設で提供しました。

◎余剰金

サッカーのプログラムはほぼ予定通り行われましたが、水泳プログラムは、利用料のかかるスポーツ施設を中心とした活動から、無料で利用をさせてくださるフィットネスクラブや海上自衛隊の訓練用プールを中心とした活動へ、活動場所を移し回数を増やしたことから、一ヶ月あたり合計14回のうち12回ほどを無料で実施できるようになりました。また、東北町の方々のご厚意で、水泳競技会の会場費が無料になりました。また、ライオンズクラブを始め、市民の皆さまから多くの募金活動の機会をいただきました。その結果、余剰金が発生しました。

この余剰金については、今後の活動へ繰り越して使用させていただきます。

◎スペシャルオリンピックス日本への寄付

2017年3月14日～3月25日にかけてオーストラリアで開催された「2017年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・オーストラリア」は、107の国と地域より約4,000名の選手団が参加しました。この大会へ出場する日本選手団の旅費交通費の負担軽減のために、クラウドファンディングに寄せられた総額の3%を公益財団法人スペシャルオリンピックス日本へ寄付いたしました。

◆調達した金額の使途（合計76.2万円+繰越14.1万円）

123,000円	READYFORシステム利用料
22,000円	スペシャルオリンピックス日本へ寄付
45,000円	競技会（記録会）エントリー費・傷害保険加入等
52,000円	水泳プログラム
40,000円	サッカープログラム
7,000円	スケートプログラム
334,000円	リターン準備費用
280,000円	余剰金

◎活動の広がり

2017年4月

青森明の星短期大学にてニュースポーツ体験会を行い学生の皆さまと交流しました。



2017年5月

ユニファイドサッカープログラムを始めました



フィットネスクラブ ウイングと利用規約の契約を結びプールの一部を無償に



2017年6月

館鼻岸壁朝市で街頭募金を行いました



2017年7月

青森ブランチ（中級者クラス）が半年ぶりに再開！



3名のコーチが福島県郡山市で行われたサッカー競技コーチクリニックに参加



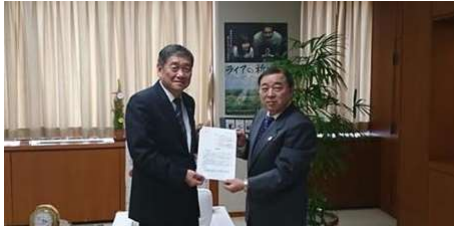
2017年8月

有森裕子理事長の講演会



2017年9月

八戸市議会が市のスポーツ施設を利用する場合、利用料金が無料とすることを決定



2017年10月

水泳競技会



以上